

週刊 女川湾海況速報 (No.53)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

7 月 22 日から 26 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

観測点



小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して全層で水温は上昇。塩分は表層（0m）で下降したが、底層（5m）では同程度を維持。先週に引き続き、表層の塩分は 30 以下を示し、経時的には 25 日まで上昇したが、26 日には下降。先週と同様に表層では湾外から侵入した低塩分水の影響が顕著。26 日の表層の塩分下降は降水の影響と推定。

水深 [m]	7月22日 (月)	7月23日 (火)	7月24日 (水)	7月25日 (木)	7月26日 (金)
0	19.9 (22.8)	19.3 (24.3)	19.3 (26.1)	19.7 (26.6)	20.1 (25.7)
5	16.1 (32.7)	16.1 (32.7)	16.4 (32.3)	16.9 (31.6)	16.6 (32.2)

水温の単位は℃。*22日は水深6mのデータを使用。

②濁度：先週と比較して表層で下降したが、底層では上昇。経時的には 24 日に全層で顕著に上昇し、表層では 5.6FTU、底層では 12.9FTU をそれぞれ示した。(単位は FTU)

水深 [m]	7月22日 (月)	7月23日 (火)	7月24日 (水)	7月25日 (木)	7月26日 (金)
0	1.5	1.2	5.6	1.6	2.1
5	2.1	1.4	12.9	1.8	2.1

③溶存酸素：先週と比較して表層では上昇したが、底層では下降し、期間を通じて全層で 6~9mg/l 台を示した。表層の低塩分水内では 7~9mg/l 台の高い値を示した。

水深 [m]	7月22日 (月)	7月23日 (火)	7月24日 (水)	7月25日 (木)	7月26日 (金)
0	9.7	8.6	7.7	7.9	9.7
5	6.9	6.5	6.8	7.1	6.8

単位は mg/l。水産用水基準（水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値）：4.3mg/l 以上。

St.1 の結果

水温、塩分はそれぞれ 15.5~19.7℃、21.3~33.1 の範囲にあった。先週に引き続き、表層には塩分 30 以下の低塩分水が存在し、水深 0m と 5m の間の塩分の鉛直勾配（10.8/5m）が発達。濁度は 0.7~1.9FTU の範囲にあり、底層で最大。溶存酸素は 6.6~7.2mg/l の範囲にあり、底層で最小。

7月22日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	19.7	21.3	1.6	9.6
5	16.4	32.1	0.5	6.9
10	16.1	32.8	0.7	7.0
15	16.0	33.1	0.7	7.2
18	15.5	33.1	1.9	6.6

本データの利用については、
東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp

までお問い合わせください。